

はじめに：パラ・スポーツが今、注目されています。パラ・スポーツは、障がいのある方々がスポーツ活動に参加し、競技を通じてスポーツの楽しさを体験するとともに国民の障がいに対する理解を進め、障がい者の社会参加の推進に寄与することに大きな意義があります。特に、本連盟は、知的障がい者が自立・自律をめざし、多様な支援者の力を借りながら生涯にわたって自己充実とよりよく生きようと挑戦する生き方をスポーツ（フットソフトボール競技）活動を通じて発信していきたいと考え、広報誌「かわら版」を発行することにしました。



年齢・世代及び障がいの有無に関係なく多くの皆様のご理解・ご協力並びにご意見を期待しております。

🌟 競技団体名称変更「一般社団法人日本知的障がい者フットソフトボール連盟」（令和5年3月14日登記）🌟

1（全スポ情報）特別全国障害者スポーツ大会開催：令和5年10月28日（土）～30日（月）

○フットソフトボール競技は、令和5年10月28日（土）・29日（日）南九州市知覧町で、全国地区予選を勝ち上がった6チームと地元鹿児島チームの7チームがトーナメント戦を戦い、熊本県チームが10年振り2度目の優勝を遂げられた（同時優勝が1度あり、単独での優勝は今回が初めて）

（1）令和2年度第20回大会を開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により延期され、後催県等のご理解・ご協力もあり、令和5年度に特別大会として開催されたものです。鹿児島県及び競技団体等大変な準備とご努力があつての開催となり、選手・指導者は大いに感謝していました。深謝、深謝！！

（2）優勝：熊本県チーム 第2位：静岡県チーム。3位決定戦には東京都チームと和歌山県チームが対戦。上位4チームの活躍は新鮮で、1強時代から全国各地の力が拮抗する状況が印象的でした。地元鹿児島県チームはフレッシュで全力を出され、交流戦では1勝を挙げられました。今後の健闘をお祈りします。

（3）このような熱戦を支えていただきましたのは鹿児島県大会実行委員会、主管競技団体である鹿児島県及び南九州市ソフトボール協会の皆様、とりわけ審判員の活躍には「ありがとうございます」とお礼を申し上げるほかありません。準備から7年に亘る講習会等を重ねていただきましたことに感謝いたします。高校生ポレンが献身的に支えてくれました。今後の人生に大きく「記憶」に残ることを期待しております。

（4）今後は、チームが永く活躍できるよう多くの皆様方のご理解ご支援をお願いいたします。幸い来年は佐賀大会、さらに4年後は宮崎大会が開催されます。同じ地域で全国大会が引き続き行われるところから環境は整いつつあります。鹿児島県チームは継続する意向を示していますのでご支援をお願いいたします。



（優勝した熊本県チーム）

2（フット連盟情報）

・ 令和5年10月22日（日）八戸市で、フット競技に係る審判員講習会が開催されました。青森大会を目指して青森県軟式野球連盟八戸支部の審判員15名と放送担当者4名が参加され、熱心に取り組みました。選手役は、ソフトボール競技一般女子チームと軟式野球競技一般男子チームとが練習試合形式で行われる「フット競技模擬試合」で実技をしていただきました。大変熱心に取り組みされていました。

3（お知らせ）日本知的障がい者フットソフトボール連盟地区活動情報

（九州地区）令和5年11月26日（日）佐賀県大峰町で「第3回九州地区知的障がい者フットソフトボール選手権大会」が実施されます。これは、佐賀県が国の事業を活用して全国障害者スポーツ大会の団体種目の競技力を向上し、全スポ大会の開催に資することを目的に行っている大会です。

・ 本年度は、6チームが参加し試合を行うとともに佐賀県内の審判員が大会を支えていただけると聞いています。佐賀大会も開催真近かになりました。佐賀県チームの松田佳久監督も燃えておられました。

（中国・四国地区）岡山県では、令和6年度中国・四国地区予選会引き受けのため、来年3月に審判員講習会を開催するよう企画を進めておられるようです。連盟は応援します。

4 フット連盟連絡先情報

◎ 障がい者スポーツ、フットソフトボールについてのお問い合わせ、ご相談は

一般社団法人日本知的障がい者フットソフトボール連盟まで

（募集中）令和6年度の全国各地の情報をお待ちしています。ぜひ ご一報を！！

（連絡先） 〒747-1221 山口市鋳銭司10812番地1 社会福祉法人るりがくえん 気付 （担当：内山之彦、三枝啓巳）
TEL 083-986-2054 E-mail ruri-nel@c-able.ne.jp (内山之彦)
FAX 083-986-2469 E-mail ruri-jyl@c-able.ne.jp (三枝啓巳)